

## 第2学年東組 生活科学習指導案

学習指導者 濟城 智哉

### 1 単元 「生きものとなかよし大作戦 —みんな生きている—」

#### 2 単元について

##### (1) 育成したい「思考力」と学びに熱中する子どもの姿

###### 【育成したい「思考力」】

生き物を飼育する活動の中で、これまでの飼育経験を生かして、自分が飼育している生き物への関わり方を工夫する力

飼育している生き物およびその飼育に興味をもち、自分の生き物の飼育に生かそうと、世話をし気付いたことを伝え合い、行った世話のしかたについて友達と話し合い、成長を楽しみにして世話を続けている。

###### 【学びに熱中する子どもの姿】

本単元では、子どもたちは2東生き物ランドを開いて、1年生に自分が飼っている生き物のことやその世話のしかたを教えるという目的意識をもって、飼育活動を行う。飼育活動においては、1年生の時から続けているウサギの世話や自分が探してきた生き物の世話を思い出しながら、自分の生き物に関わっていく。その過程で、子どもたちの関わり方によって生き物が元気に活動するようになることもあれば、場合によっては生き物が命を落としてしまうこともあるだろう。子どもたちは、上記「思考力」を働かせることで、例えば、「汚れている水だとメダカさんが苦しそうだから、水換えをしよう」「暑いところにずっとおいていると、暑くてヤゴくんの元気がだんだんなくなったから、虫かごは、すずしいところに置こう」と、より生き物の立場に立った世話ができるようになったり、「元気に動き回る時があれば、静かに休む時があるのは、生き物も自分たちと同じだね」と生き物や自分自身に対する気付きの質を高めていけると考える。そして、生き物のことを考えて世話ができたり、命の尊さを感じたりできるようになることも期待できる。

本「思考力」は、上記のような学びに熱中する姿の中で育成される。子どもたちは、学校のプールにヤゴがいることを知った子どもたちは、虫かごに入れて飼育していく。その過程で、「どんな住みかにすれば、アメンボが喜んでくれるかな」「ヤゴは、何を食べるのだろう」「メダカの仲間は、何匹にしようかな」と、どのように飼育していけば、ずっと生き物が元気でいてくれるのかを願いながら生き物に興味をもっていく。そして、飼育する中で、「一度にたくさん餌をあげても、メダカは全部食べられないよ」「虫かごに、草や石を入れるとカナヘビが隠れたり、登ったりするよ」と、世話をし気付いたことを伝え合うことを通して、自分の生き物の飼育に生かせる視点を獲得することができるだろう。獲得した飼育の視点を生かして、今まで自分が行ってきた世話と生き物との関わり方を改善しようとしたり、生き物の立場から考えようとしたりすることが、ずっと生き物が元気でいてくれるためには、大切なことだと気付く。そして、世話を続けていると、生き物が成長する過程で見られる産卵や羽化等にも出合えるだろう。生き物がずっと元気でいてくれるかを願いながら、世話を続けている子どもの育成を目指す。

##### (2) 新たな問題を共有する場を位置づけた単元構成について

事前の質問紙調査で、本学級の子どもたち(35名)の飼育活動についての実態を調べると、生き物を飼うことへの関心が高い子どもは多いことがうかがえる。飼育活動は得意か(自信度)に対して、否定的な回答をする子どもが16名いた。理由を問うと「住みかや餌や世話のしかたが分からない」「餌やりがうまくいかない」「すぐに死んでしまう」等であった。そこで、①プールにいる生き物の飼育(ペアまたはグループで)、②校庭や松風園にいる生き物の飼育(個人で)、と課題解決の場を複数回用意し、飼育経験や世話をする中での成功体験を積み重ねられるようにし、飼育活動への自信を高めていける単

元構成とした。

まず、第1次に、校内のいる生き物を見つけに行く。再度自分でも見つけにいけるよう、生き物がいた場所ごとに整理しておく。第2次で、①プールにいる生き物を採集した中から、飼育する生き物を選択して、ペアやグループで飼育していく。友達と一緒に飼育していけることで、飼育準備やお世話のしかたへの見通しがもて、飼育への自信が高まるだろう。そして、②校庭や松風園等にいる生き物を、個人で飼育していく過程で生まれるであろう新たな問題「もっと生き物の数や種類を増やしたい」を学級で共有し、自分の生き物への関わり方について考えていくのである。

(3) 単元計画と学習意欲への働きかけ (総時数10時間)

次	主な子どもの意識および学習の流れ	学習意欲への働きかけ
第一 次	<p>① 身の回りにいる生き物を育てよう</p> <p>校庭や松風園等には、どんな生き物がいるかを予想する。そして、実際に探しに行つて確かめる。その後、見つけた生き物について交流することで、学校のさまざまな場所にいる生き物について関心をもつ。</p> <p>②～④ プールで見つけた生き物を育てよう</p> <p>学校のプールにいる生き物を採集し、その中からペアまたはグループで飼育する生き物を選択する。そして、飼育に必要な世話(住みか、餌、仲間)について本や図鑑等で調べたり、話し合ったりすることで、2週間という飼育期間の活動への見通しをもつ。飼育準備の際には、生息場所を再度観察し、その場所の様子に近づけたり、餌を自分で採集したりすることで、飼育する生き物や飼育への関心を高める。飼育活動を通しての気づきが増えていることに着目させることで、家族や1年生等に伝えようという思いをもつ。</p> <p>日々の飼育活動での成功経験や失敗経験から学んだ飼育のコツを交流する場を設けることで、飼育への自信を高めた子どもたちは、「生き物の数を増やしたり、種類を変えたりしたい」「1年生に育てている生き物やそのお世話について、教えたい」等、新たな問題を表出する。</p> <p>⑤⑥ 身の回りにいる生き物を育て、1年生に伝えよう</p> <p>校庭や松風園等で見つけた中から個人で飼育する生き物を決め、飼育に必要な世話を調べて飼育準備をする。うまく飼育できる子は、そうでない子のために一緒に考えられる機会を設け、飼育活動への自信を高める。</p> <p>⑦ もっと生き物となかよくなれるお世話のしかたを考えよう</p> <p style="text-align: right;">本時(7/10)</p> <p>続けて世話をしている生き物や新たに採集した生き物について、世話をしたの成功経験や失敗経験から学んだ飼育のコツの交流を通して、生き物と自分とのよりよい関わり方について確かめ、「もっと生き物の数や種類を増やしたい」という新たな問題を取り上げ、共有する。</p> <p>〈評〉これまでの経験を基に、生き物への関わり方を工夫している。</p>	<p>②～⑦ 関・自</p> <p>【校内生き物ボードと飼育カード】</p> <p>校内で見つけた生き物を場所ごとに掲示する。そうすることで、探したいときには、いつでも確認できたり、新たに見つけた生き物を加えたりできるようにする。合わせて、簡単な飼育方法を記したカードを用意しておくことで、採集した生き物を飼育する際、見通しをもつことができるようにする。</p>
第三 次	<p>⑧⑨ 「2東生き物ランド」をひらく準備をしよう</p> <p>自分が飼った生き物やその飼い方について、1年生に教える準備をする。</p> <p>⑩ 「2東生き物ランド」をひらこう</p> <p>1年生に自分が飼った生き物やその飼い方について、教える。</p>	<p>----- 振り返り -----</p> <p>④⑥⑦⑨⑩ 【短冊シート】</p> <p>短冊シートに分かったことやできたこと、願い事を書く。その際、ペアやグループの頑張っている友達を見つけ、その人数分を星に色をつけて表し、その後、どんな頑張りがあったかを伝え合う。</p>

### 3 本時の学習指導

#### (1) 目標

これまでの経験を基に、現在、行っている生き物への関わり方を工夫し、今後の世話を考えることができる。

#### (2) 学習指導過程

学 習 活 動	子 ども の 意 識
1 これまで行った世話を振り返り、学習課題を設定する。 <b>関・自</b> 【校内生き物ボードと飼育カード】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             世話を続けているけれど、あまり元気がないよ。今の世話のしかたで、いいのかな。              お世話ほうまくいっているよ。もっと喜んでもらうには、どうすればいいかな。              世話のしかたを工夫すれば、もっと生き物となかよくなれそうだ。           </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <b>もっと生き物となかよくなれるお世話のしかたを考えよう</b> </div>	
2 自分が飼育している生き物の様子を見ながら、世話の工夫を考える。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">             私の生き物の今の様子はどうか、見てみよう。           </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">             餌をあげても、あまり食べないから、うれしそうではないよ。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">             餌をたくさん食べて、動き回っているから、うれしそうだよ。           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             あげる餌を変えてみようかな。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             木の枝を入れて遊ぶ場所を作ろう。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             仲間を増やせば卵を産むかもしれないよ。           </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">             他の友達は、どんなお世話を考えたのかな。           </div>
3 考えた世話のしかたについて、話し合う。  (1) 同じ生き物を飼育している友達と交流する。  (2) 全体で交流する。	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             あげた餌が余っているから、あげる回数を減らしてみるよ。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             隠れられるよう石は大きいのを3つに増やして置くよ。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             卵を産んでほしいから、仲間を10匹くらいにするよ。           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             あげる餌の種類を変えてみよう。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             隠れる草と木の枝をもっと入れるよ。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             オスとメスを入れるようにしよう。           </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             生き物によって、好みの草や虫があるよ。うだから、調べてみよう。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             生き物によって、石の下等、お気に入りの場所がちがうよ。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             オスとメスを入れるだけではなく、卵を産みやすい場所があるかもしれないよ。           </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">             生き物によって、好きな餌や場所、仲間が違うので、生き物のことを考えた世話をしていけないといけないね。           </div>
4 今後の自分の世話について確認し、本時の振り返りをする。 <b>振</b> 【短冊シート】	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">             チョウの幼虫には、毎日、新しい葉を入れてあげよう。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">             カナヘビが、隠れられる大きめの石だけでなく、草も入れよう。           </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             卵を産んでくれる住みかにして、オスとメスのバツタを入れよう。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <b>もっと生き物となかよくなれる世話のしかたを考えたよ。生き物の数をもっと増やしたい。</b> </div>

(3) 本時の詳細

前時までの子どもの意識 学習活動1

前時までに子どもたちは、複数の生き物についての飼育活動を通して、飼育に必要な世話の視点として、住みか、餌、仲間があることを捉えている。そして、飼育する生き物となかよくなりた、いつまでも元気でいてほしいという思いをもって、飼育活動を続けている。本時の導入では、まず、子どもたちが飼育している校内の生き物への思いを振り返り、その後、飼育カードに書かれている世話の視点を確認する【関・自】**【校内生き物ボードと飼育カード】**。そして、今の生き物の様子から、「今のお世話で、もっとなかよく、元気になれそうですか」と問いかける。うまくいっていない子は、世話のしかたを改善するという意識から、うまくいっている子は、世話のしかたを工夫するという意識から学習課題を設定する。



【校内生き物ボード】

【生きもののかいりカード】		スジエビ
えさ	すみか(入れものの中)	なかま
小さな虫 ミミズ	水 石	おす めす

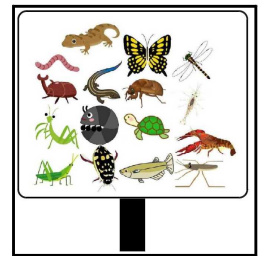
【飼育カード】

学習活動2

自分が飼育する生き物の今の様子を観察して、ワークシートに生き物の行動や気持ち等を記入する。その際、ワークシート内の幸せメーターに記入し、そう感じた理由も書くようにする。そうすることで、生き物の気持ちにより喜んでもらおうという意識から、これからの世話の工夫について考えていく。また、飼育に使える道具や資料を教室に並べ、必要な時に見に行き、よいことを伝えておく。その後、世話の視点である住みか、餌、仲間と、生き物の様子とを板書でつなぎながら示していき、世話の視点が同じでも、数や量、大きさ、置き方等が異なることに気付かせ、他の友達が考えた世話のしかたへの関心を高めていく。

学習活動3

同じ生き物のお世話を考えた友達同士で、自分の考えた世話の工夫についてペア交流する。自分の考えた世話を伝える際、生き物の様子を実際に見せながら行うことを確認する。そして、自分の考えを伝えた後、「このお世話のしかたで、どうですか」と、聞き手となるプレートを持った友達に尋ねる。その際、まず、「考えてくれてありがとう」と、言い返してから友達の考えを聞いて、うれしくなったり、楽しくなったりしたことを生き物の立場になって伝えるようにする。相手が根拠を言わなかった時は、「どうして、そう考えたのですか」と尋ねるようにする。その後、友達の考えでいいなあと感じたことをワークシートにメモするように促し、ペア交流後には、聞いたメモしたりした意見を基に、自分の世話を見直す時間を設ける。そして、全体交流の中で、違う生き物を飼育する友達の考えを聞き、住みか、餌、仲間の視点から比べることで、よりよい世話について考えていけるようにする。



【交流プレート】

学習活動4

今後の世話やその準備について、休み時間等を使って行うことを確認する。そして、短冊状のシートに本時、分かったことやできたこと、願い事等を記入する時間を確保する。その後、ペアで色のついた星の数と見つけた友達の頑張りを聞き合う時間を設定する【振】**【短冊シート】**。その後、シートに表出した願い事を全体で交流し、「生き物の数や種類を増やしたい」という新たな問題を共有する。



【短冊シート】

(4) 総括的評価

これまでの経験を基に、現在の行っている生き物への関わり方を工夫し、今後の世話に生かしていこうとしている。

<例>生き物がもっと喜んでくれるように、食べ残しがないよう、あげる回数を減らしたり、あげる餌の種類を増やしたりしようと思います。

【方法：発言、ワークシート】